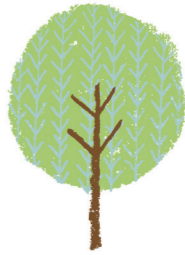


旅々、姫路。

〈その一〉癒しの旅へ



心の扉を開いて
過ごすひととき

厳かな空気が漂う仏舎利塔：
かかしの村人が迎えてくれるのどかな里山：
美しい瀬戸内海の眺め：
初めて訪れる場所を歩き、
普段見ることのない景色を眺める。
心と身体を思う存分開放して、
癒される時間を過ごしてみませんか。

名古山霊苑

姫

路城の西約1kmの丘陵地にある名古山霊苑は公営の墓地公園です。春の桜やツツジ、夏の新緑、秋の紅葉など、四季の移ろいが楽しめる場所として、市民や観光客から親しまれています。公園の中央には高さ36.7メートルの白亜の仏舎利塔があります。周囲にはドーム型の石仏堂や納骨堂、香炉堂などの堂塔が建ち並び、噴水池や庭園と相まって異国情緒を醸し出しています。東宝塔跡展望広場から眺める姫路城も素晴らしい、眼前に広がる市街地越しにそびえ立つ姿が立体的に迫ります。その眺めは姫路市の「姫路城十景」に選ばれています。

ドーム型の仏舎利塔に入ると、昭和29年(1954)にインドの故ネール首相から姫路市に贈られた仏舎利(お釈迦様の遺骨)を納めた金色に輝く厨子が目に飛び込んできます。天蓋には二羽の鳳凰と雲と観音、その下には釈迦三尊像と十大弟子の立像が並んでいます。下段には聖徳太子を中心に日本で仏教を広めた各宗派開祖の座像と、日光・月光両菩薩が安置され、豪華絢爛な中にも厳かで神秘的な空気が漂っています。

姫路市名古山町14-1
 8時40分～16時30分
 12/29～12/31
 仏舎利塔の見学 / 大人200円、子ども(5歳以上13歳未満)100円
 神姫バス姫路駅北口17・18番乗り場出発のバス(いずれも可)に乗り→「名古山北口」下車徒歩約5分。または、同5番乗り場から「今宿循環乗車」→「車輪」下車徒歩約10分
 名古山霊苑管理事務所
 ☎079-297-5030
<http://www.city.himeji.lg.jp/s30/2975030>



オススメ PICKUP!

香り豊かなゆずを
“ぎゅっ”としばりました

農事組合法人 安富ゆず組合 安富ゆず工房



安富町で採れた新鮮なゆずを使ってさまざまな加工品を製造、販売しています。ゆずは古くから血行促進や冷え性などに効果があり、健康に良い食品として知られています。工房にはゆずを絞った果汁や果皮などを使った約30種類の商品が並びます。中でも、天然のゆずの香りと風味を100%とじ込めた天然果汁「ゆずのしずく」はストレスや美白が気になる人にオススメの人気商品です。

姫路市安富町長野320-1
 9時～17時 第2・第4月曜日
 神姫バス姫路駅北口31・32・33山崎行き→「長野」下車徒歩約1分
 安富ゆず工房
 ☎0790-66-2801
<http://yuzu-yasutomi.com>



奥播磨かかしの里

安

富は美しい川の流れると緑豊かな山々が織りなす自然美に恵まれています。昔懐かしい山里の景観が残る閑静な地区では、およそ130人の、かかしの村人が迎えてくれます。農作業をしていたり、バスを待っていたり…ほのぼのとしたふるさとのかかしの表情に心癒されます。かかしの里の少し先には県指定の名勝「鹿ヶ壺」があります。長い年月をかけて、流れ落ちる滝に浸食されてきた大小数十個の罅(あち)が連なり、その名は一番上の罅(あち)が鹿の寝姿に似ていることに由来しています。



【奥播磨かかしの里】
 姫路市安富町関568
<http://www.furusato-kakashi.net/okuarima.html>
 【グリーンステーション鹿ヶ壺】
 姫路市安富町関775
 10時～21時 火曜日
 コテージ、キャンプ場、オートキャンプ場、バーベキューサイトは有料(詳細は問合せ、HPで確認)
 神姫バス姫路駅北口「グリーンステーション鹿ヶ壺」行き→「グリーンステーション鹿ヶ壺」下車
 ☎0790-66-3505
<http://www1.winknet.ne.jp/shikagatsubo>



監館眺望

家

島十景の一つで、寛永16年(1639)に江戸幕府が海上警備のために設置した番所(見張り所)からの素晴らしい眺めのことをいいます。宮港から東の山上、現在の清水公園がかつて番所があった場所になります。跡地にはその眺めを題材にした漢詩の碑があります。晴れているときの姫路方面の眺望は素晴らしい、江戸時代の地誌「播磨鑑」には、「この場所から見る入江の風景は周囲を押し、夕日にひととき映える光景は煙霧の中に見える対岸の姫路城の天守閣だ」と記されています。

真浦港から歩いてすぐのところ、水天宮として地元の信仰を集める亀の形をした巨岩があり、「どんがめっさん」と呼ばれています。むかし家島に住んでいた大きなウミガメが、水先案内を頼まれ難波の国へ旅立った主人の帰りを待ち続け、いつしか石になってしまったと伝わる石です。この亀の頭を100回なでると願い事が叶うといわれています。



姫路市家島町宮
 神姫バス姫路駅北口「姫路港」下車。姫路港から家島行き定期航路で約30分。「宮港」下車。徒歩約20分
 家島観光事業組合
 ☎079-325-8777
<http://h-ieshima.jp>



小赤壁

高

さ40m、長さ約800mの断崖(海食崖)が連なる景勝地。江戸時代、姫路藩家老河合寸翁と親交のあった頼山陽がこの地を訪れ、月夜に船を浮かべて風光を楽しんだ際、中国揚子江にある名勝地「赤壁」に似ていることから命名したと伝えられています。小赤壁の東端には棧橋式の釣り台がある姫路市立遊漁センターがあります。海が綺麗で年間を通じて豊富な魚種が釣れると、釣り人に好評です。



【小赤壁】
 姫路市木場
 【姫路市立遊漁センター】
 姫路市の形町福泊地先
 6時～21時(4月～10月)、7時～16時(11月～3月)
 火曜日(祝日の場合翌日)、12/29～1/3
 大人(16歳以上)800円、子ども(5歳以上)500円 ※釣りをしない人は大人200円、子ども100円
 神姫バス姫路駅南口「形的形循環」→「福泊」下車徒歩約5分
 ☎079-254-5358
<http://www.himeji-yugyocenter.jp>



軍師・黒田官兵衛の祖父重隆は、廣峯神社の御神符(お札)とともに黒田家秘伝の目薬を売って財をなし、のちの黒田家発展の基礎を築いたと伝わっています。

廣峯神社 姫路市広嶺山52
 神姫バス姫路駅北口「医療センター」経由広嶺行き→「広嶺」下車徒歩約40分。または「競馬場前」下車タクシー約10分
 ☎079-288-4777
<http://www.hiromine-j.jp>



廣峯神社と 広嶺山の夜景

奈

良時代末期、吉備真備が唐から帰国した際に神託を受けて社殿を建立したと伝わる由緒ある古社。本殿・拜殿・宝篋印塔が国の重要文化財に指定されています。本殿裏には九星の運命星を守護する神々が鎮座する「九つ穴」があり、願い事を書いた札を自分の運命星の穴に入れ、願いを三度ささやくと成就するといわれています。神社までの道中にある展望台からは姫路市街を一望する雄大な夜景も楽しめます。

